



平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 泉 製 作 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 久 保 田 達 夫
(コード番号：6 6 1 8 東証マザーズ)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 山 崎 成 樹
(TEL. 04-2953-9212)

「継続企業の前提に関する注記」の解消に関するお知らせ

当社グループは、平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算の内容及び今後の見通しについて検討した結果、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は認められないと判断し、本日公表の「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信」の「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することに致しましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、平成 25 年 3 月期より連結会計年度において 3 期連続の親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことなどから、平成 27 年 3 月期より継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在している旨を記載するとともに、このような状況を解消すべく、「地産地消」を基本とした生産工場の分散化によるリスク軽減、グローバルレベルでの最適な調達を行うことによる材料費の低減、物流効率化による荷造り運賃の低減や徹底した経費節減等、様々な施策を実施してまいりました。

この結果、本日公表の「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信」に記載のとおり、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高は、6,060 百万円（前年同期は 5,879 百万円）、営業利益は 311 百万円（前年同期は営業損失 17 百万円）、経常利益は 117 百万円（前年同期は経常損失 234 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 67 百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 266 百万円）と前年同期および公表予算を大幅に上回る利益を計上しました。また、平成 29 年 3 月期の業績予想につきましても、引き続き各段階の利益について黒字を見込んでおります。

今後においても安定した収益確保と財務体質の改善が見込まれることから、現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は認められないと判断し、本日公表の「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信」の「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することに致しました。

今後につきましても、さらなる社業の発展と財務体質の強化に努めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

以 上